

2040年に向けたサービス提供体制等のあり方検討会

「2040年に向けたサービス提供体制
等のあり方」検討会（第3回）

資料6

令和7年2月10日

『介護事業者による 生産性向上の好事例について』

～介護現場におけるDX化に向けた相談窓口の設置～

株式会社日本介護ベンチャーコンサルティンググループ

代表取締役 齊藤正行

(通所介護)
都市部における在宅介護現場での
生産性向上好事例



会社概要

| | | |
|------|--|---|
| 会社名 | 株式会社エルダーテイメントジャパン | |
| 創業 | 2008年10月10日 | |
| 本社 | 千葉県美浜区真砂5-2-3 | |
| 社員数 | 190名（2024.6現在） | |
| 専門職 | 保育士、児童発達支援管理責任者、幼稚園教諭、管理栄養士。社会福祉士、理学療法士、作業療法士、看護師柔道整復師、介護支援専門員、介護福祉士、あんまマッサージ師、鍼灸師、保育士 | |
| 沿革 | 2008年 | コンサルティング事業開始 |
| | 2010年 | 稲毛海岸にてデイサービス事業を開始（その後移転） |
| | 2012年 | リハビリスタジオていだ小仲台開設 |
| | 2014年 | リハビリスタジオていだ真砂、介護相談センター美浜開設 |
| | 2016年 | リハビリスタジオていだ千城台開設 |
| | 2018年 | ていだまちベース八千代高津（デイサービス、保育、飲食） ていだまちキッズ新検見川駅前開設 |
| | 2021年 | ていだまちキッズ検見川浜、ていだまち倶楽部検見川浜開設 |
| | 2023年 | リハビリスタジオていだ桜木、訪問看護ステーションTida美浜（サテライト桜木）開設 |
| | 2024年 | ていだまちジュニア幕張ベイタウン教室開設 |
| 関連事業 | 株式会社スターコンサルティンググループ、(株)アイグロブダイナー、日本ケアビジネス協同組合（外国人技能実習事業）、一般社団法人日本介護旅行サポーターズ協会（検定事業） | |



会社概要

デイサービス

リハビリスタジオていだ真砂 (デイサービス)
 千葉県美浜区真砂5-2-3
 TEL: 043-306-2013
 定員:60名 営業:月~土曜日

美浜区
最大!

訪問看護・ケアプランセンター

訪問看護ステーションTida美浜
 介護相談センター美浜 (居宅介護支援事業所)
 千葉県美浜区真砂5-10-4 営業:月~金曜日
 訪看: 043-441-5142 居宅: 043-441-6955

認可保育園

ていだまちキッズ検見川浜
 千葉県美浜区真砂2-24-8
 TEL: 043-306-2013
 定員:30名 営業:月~土曜日

絵本1000冊

児童発達支援事業所

ていだまち倶楽部
 千葉県美浜区真砂2-24-8
 TEL: 043-445-8096
 営業:月~金曜日

発達障害児童の
就学サポート

デイサービス

リハビリスタジオていだ小仲台
 千葉県稲毛区小仲台8-5-6
 TEL: 043-305-5523
 定員:40名 営業:月~金曜日

千葉県小規模保育事業 絵本400冊

ていだまちキッズ新検見川駅前
 千葉県花見川区南花園2-1-3山崎ビル2階
 TEL: 043-445-8341 対象: 0~2才
 定員:19名 営業:月~土曜日 祝日休み

児童発達支援事業所

ていだまちジュニア帯張ベイタウン教室
 千葉県美浜区打瀬3-7パティオス21番街
 TEL: 043-441-8012
 定員:10名 営業:月~金曜日

デイサービスセンター

リハビリリゾートていだ千城台
 千葉県若葉区千城台南4-5-2
 TEL: 043-312-3121
 定員:55名 営業:月~土曜日

デイサービスセンター・訪問看護

リハビリスタジオていだ桜木 定員: 40名
 訪問看護ステーションTida美浜 サテライト桜木
 千葉県若葉区若松町2136-1
 デイ: 043-420-8062 訪看: 043-308-8328

デイサービスセンター

リハビリスタジオていだ八千代高津
 千葉県八千代市大和田新田60-6
 TEL: 047-409-0231
 定員:65名 営業:月~土曜日

絵本400冊

企業主導型保育事業

ていだまちキッズ八千代高津
 千葉県八千代市大和田新田60-6
 TEL: 043-409-4154 対象: 0~5才
 定員:19名 営業:月~土曜日

まちのカフェ・レストラン

ていだまちテラス
 千葉県八千代市大和田新田60-6
 TEL: 043-409-3937
 席数:36名 営業:月~土曜日

美浜区

千葉県若葉区

八千代市



千葉県美浜区・稲毛区・花見川区

自施設を「ICT化実験店舗」として運営中



- ☆ 拠点をショールーム化（最新設備の実験店舗）
- ☆ 効率化・ICT化・ロボット化のモデル施設
- ☆ 先進的サービスのモデル施設
- ☆ 各種機器の代理店もしております

利用者にも
スタッフにも
会社にも
メリットがある拠点



除菌脱臭機



室内画像記録



大型自動掃除機



アセスメント



インカム



記録



免荷リハ機器



シャープ格安スマホ



送迎表自動化



危険運転記録&通知システム



1対多プログラム



送迎システム (DRIVEBOSS)



DRIVEBOSS



DRIVEBOSSの機能

送迎支援サービス『DRIVEBOSS』

【機能】

- 送迎計画自動作成
- 送迎ルート自動作成
- 送迎計画書の印刷

計画・請求システム「カイボケ」と送迎表自動作成システム「ドライブボス」の情報をRPAで自動的に連携できるようにしたことで、さらに効率化が実現



作業時間 110分/日



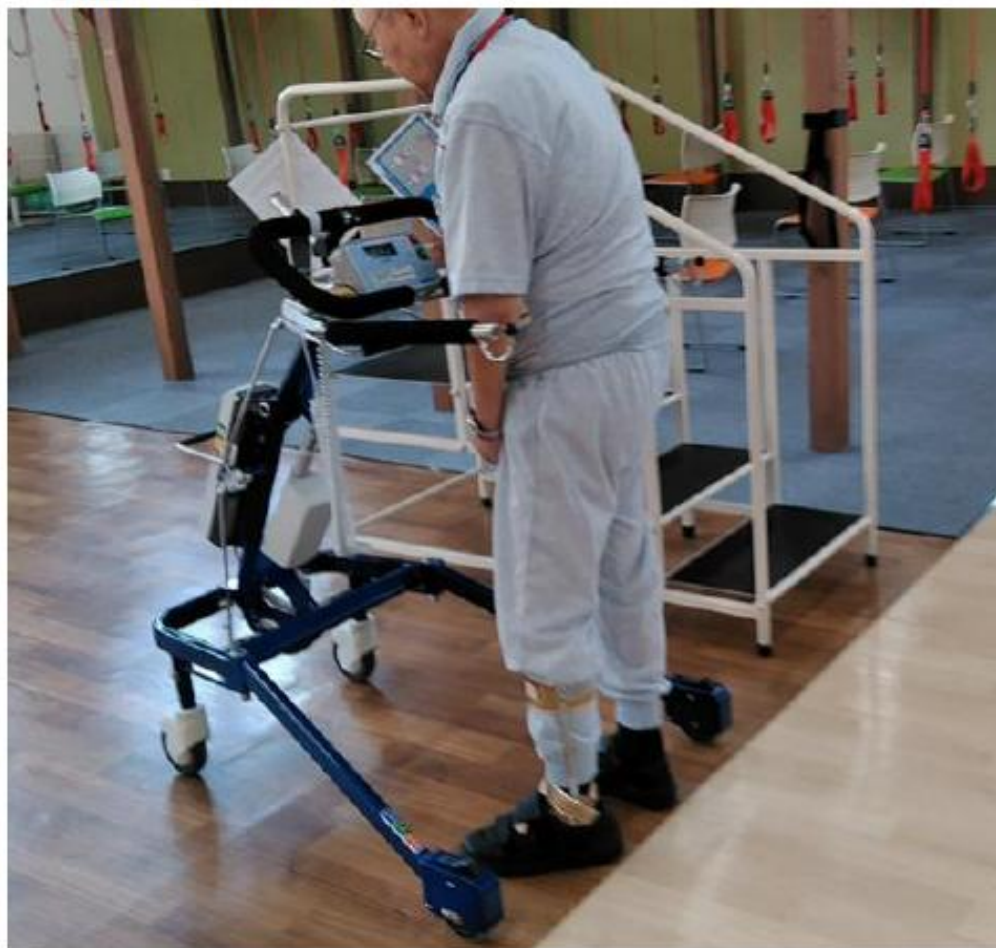
10分/日

100分
削減

事例

ロボット化・ICT化

これまで歩行訓練が難しかった利用者（立位が難しい方）の個別訓練が可能になった！





いかに無資格・未経験の人材を 手間をかけずに**早期育成**できるか

教育強化

無資格・未経験者の育成

弊社でもオンラインでいつでも、どこでも見られる「動画マニュアル」を作成している。個々にID、PWを発行するため、個別の進捗状況やどの動画を何回見たかの確認ができ、小テストをWEB上で行うこともできる。



1 介護の仕事で大切なこと



2 介護事故の予防



3 利用者の理解



4 部屋の環境を整える



5 移動の介護



6 食事の介護

5 移動の介護

- ▶ 1 生活に大切な移動 (1:23) [Preview](#)
- ▶ 2 移動で使う道具 (0:43) [Preview](#)
- ▶ 3 利用者が休む時 (0:48) [Preview](#)
- ▶ 4 ベッド上で手前に寄せる (2:02) [Preview](#)
- ▶ 5 仰向けで寝ている (背臥位) から寝る (側臥位) (2:34) [Preview](#)
- ▶ 6 座っている (端座位) から立ちあがる (立位) (2:36) [Preview](#)
- ▶ 7 座っている (端座位) から車椅子へ 側立位ができない時 (3:18) [Preview](#)
- ▶ 8 車椅子で高いところへあがる (1:28) [Preview](#)
- ▶ 9 車椅子で低いところへおろす (1:11) [Preview](#)
- ▶ 10 車椅子で坂をのぼる、くだる (1:20) [Preview](#)
- ▶ 11 車椅子でエレベーターにのる、おろす (2:23) [Preview](#)

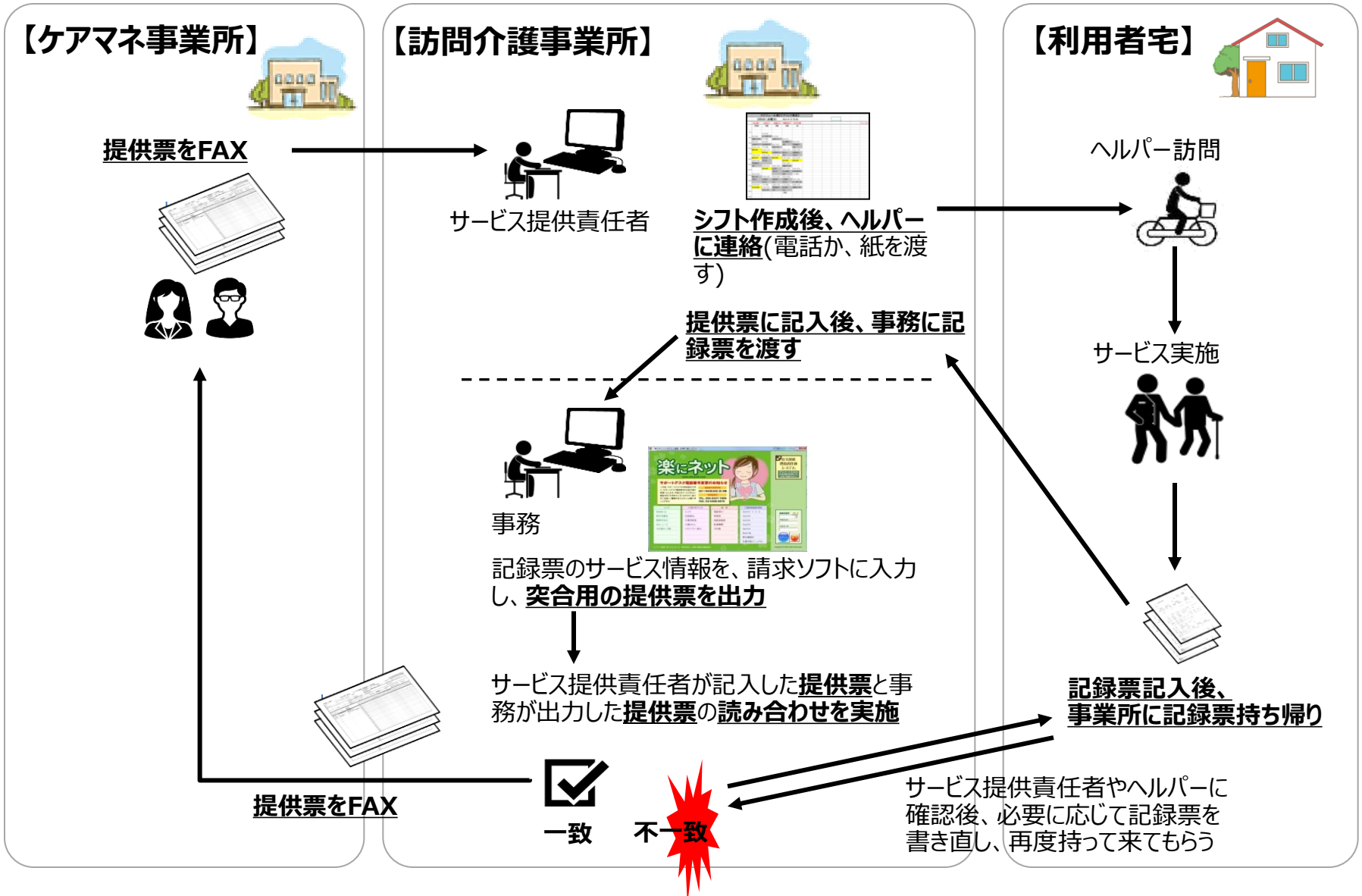
(訪問介護)

都市部及び一般市における
在宅介護現場での生産性向上好事例

• 株式会社ケアリッツ・アンド・パートナーズ

- 創業 ; 2008年7月
- 代表者; 宮本剛宏
- 売上; 174億円(2023年度実績)
- 社員数; 3245名(パート含む)
- 所在地 ; 東京都新宿区新宿4-1-6
- 事業内容;
 - **介護事業**
→ **訪問介護234事業所**・通所介護4事業所・短期入所2事業所・居宅介護支援9事業所・有料老人ホーム1棟・サ高住1棟
 - **ITシステム開発事業**
→ 株式会社ケアリッツ・テクノロジーズ社として分社化

生産性向上①記録・請求業務の電子化 (1)一般的な請求フロー



生産性向上①記録・請求業務の電子化 (2)一般的な請求フローにおける課題

課題

詳細

シフト、記録票、提供票の三重記入

- 予定通りに訪問した場合、シフト＝記録票＝提供票記入となるにもかかわらず、それぞれ別で作成しているため、三重に記入している

シフトと請求ができるソフトと、それをヘルパーに連携できるアプリがあれば解決できる

記録票を請求ソフトに入力するのが手間

- 東京都内だと、訪問介護の月次平均売上は約300万円、1事業所あたりの月の記録票枚数が約770枚になる

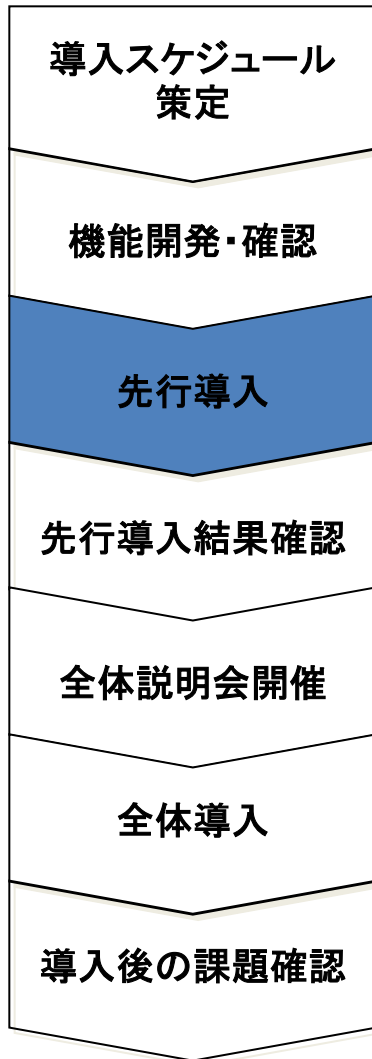
ヘルパーがアプリで記録を入力し、請求ソフトに連動できれば事務による入力作業はなくなる

読み合わせに時間がかかる

- 記録を手書きにすることに起因するミスが多く、読み合わせによる確認作業が必要
- ケアマネがはじめに送ってきた提供票に記入したものを返信するという慣習

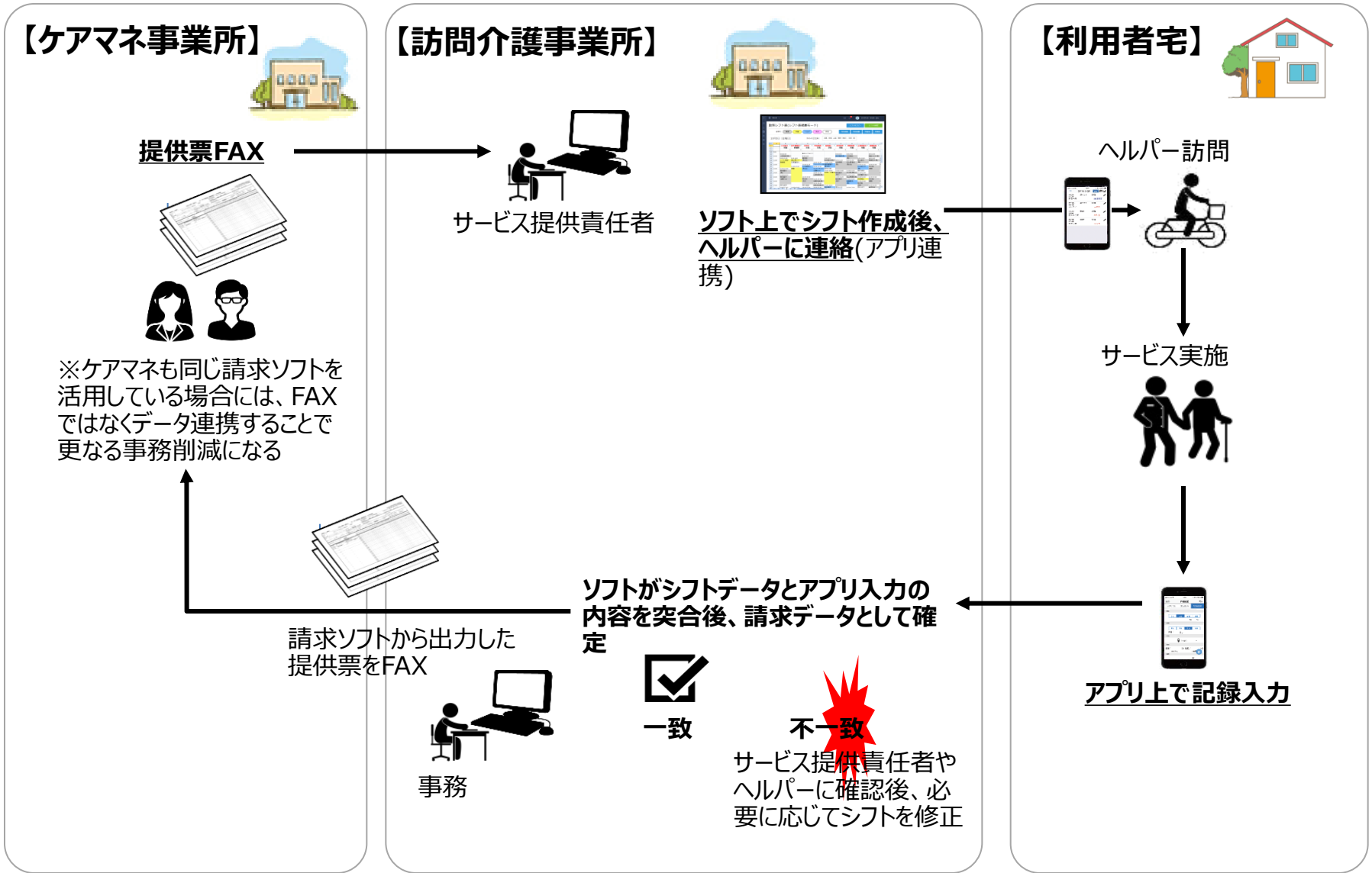
アプリで、実績が予定と異なるときのみヘルパーが修正することで、入力ミスを大幅に減らすことが可能。ケアマネは自身が送った提供票でなくても業務可能

生産性向上①記録・請求業務の電子化 (3)ICT導入のプロセス



- 機能の詳細把握や開発にかかる期間も考慮しながら、全社導入までのスケジュールを策定(概ね3か月～1年を想定)
- 請求業務や記録業務の実務詳細を把握している各部署の責任者を集め、機能の詳細に関する打合せを複数回開催
- 2～3事業所で、先行導入を実施。旧システムと併用とし、業務全体が滞りなく置き換えられるかを確認
- 先行導入期間(概ね3か月)を踏まえ、全体導入実施の可否を判断
- 各事業所の管理者全員に、説明会を実施。各事業所の管理者を事業所単位の導入責任者とし、事業所内のスタッフに説明を実施
- 全社での導入を実施し、各事業所で問題が発生しないかを逐次確認
- 導入後、「導入前よりも時間がかかってしまう業務」等の課題を抽出し、機能追加等の改善案を検討

生産性向上①記録・請求業務の電子化 (4)ICT活用後の請求フロー



生産性向上①記録・請求業務の電子化 (5)ICT活用によるメリット

| 項目 | 詳細 |
|------------------------|--|
| 各事業所でのサービス提供責任者の事務負担軽減 | <ul style="list-style-type: none">• 予定があるのに実績がない、予定がないのに実績がある、時間やサービス区分が変更されている、等の<u>エラー</u>については、<u>提供票のチェックをしなくても把握</u>することができる<ul style="list-style-type: none">• 予定（シフト）と実績（記録票）が一致しないものについて、<u>ソフト側でリストアップ</u>する仕組み |
| 事務員の負担軽減 | <ul style="list-style-type: none">• 事務側で行っている、<u>記録票の入力作業、請求ソフトから作成した提供票と記録票から作成した手書きの提供票の読み合わせ（確認作業）</u>、の2つの作業が不要となる• 1事業所あたり1人の事務員がいなくても、運営が可能となる• 作業が減った結果、これまでより早くケアマネジャーに対して実績送付を行うことができる |
| コスト削減 | <ul style="list-style-type: none">• 紙の記録票がなくなるため、これまで大量に購入していた<u>記録票を購入する必要がなくなる</u>• 月末の締め作業がなくなることで、ケアリッツでは500万／月の事業所でサービス提供責任者の事務に関して<u>約50時間／月の事務作業が削減</u>• 状況によっては<u>事務員の作業軽減によるコスト削減効果</u>も期待できる |

生産性向上①記録・請求業務の電子化 (6)システム導入の費用対効果試算

費用の試算

- **システム開発費用; 約7000万円**
 - 要件定義(15人月)+設計フェーズ(20人月)+プログラミング(20人月)+テストフェーズ(15人月) = 70人月
 - 単価を1人月100万として試算(外注した場合)
- **導入にかかる費用; 300-500万円**
 - 事業所の責任者への説明会、スタッフへの周知、問い合わせ対応などを想定

計; 約7500万円

実際にはケアリッツで内製しているため、**約4000万円程度**のコスト

効果の試算

※システムの大規模な改修作業は4年は無く、その間に会社規模が60億→80億→100億と成長すると仮定

- **人件費の削減と売上アップ額; 5億円**
 - **現場での締め作業;** 500万/月の事業所で50時間の事務作業が削減可能。全社では5000時間/月の事務作業が削減され、そのうち半分の時間、現場作業ができるとすると、 $2500 \times 4000 \text{円/時間} = 1000 \text{万/月}$ だけ、売上拡大が可能→4年では、**4.8億円**のインパクト
 - **本社での請求作業;** 請求業務に従事していた本社事務スタッフが8人中2人分の作業が無くなった為、今後3年間を考えると9人分(1人300万/年)程度の人件費削減→**0.27億円**のインパクト
- 消耗品等の削減; **紙・印刷代・場所代などは1000万程度**

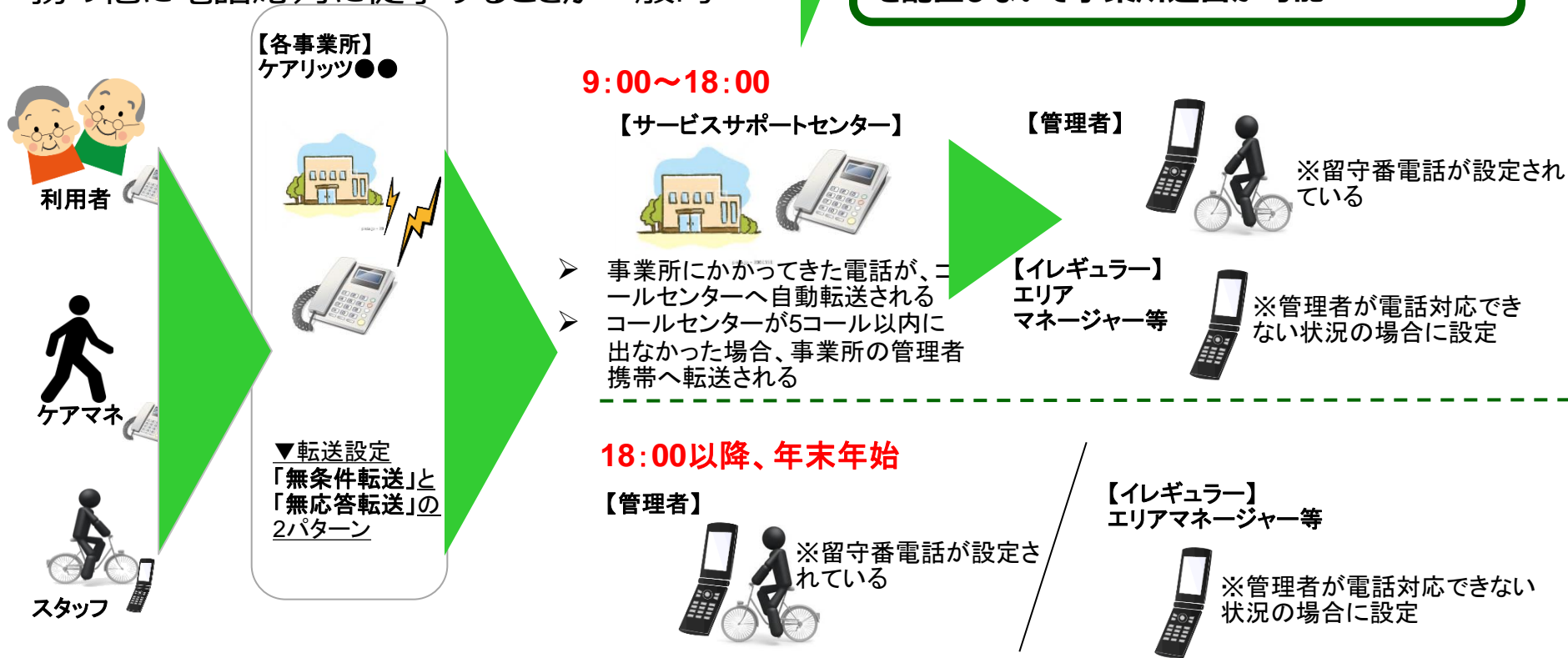
計; 約5億円

 **かかる費用とそれによる効果を試算した結果、圧倒的にメリットが大きい**

生産性向上②コールセンターの構築 (1)コールセンターの概要

訪問介護事業所で勤務する事務員は、請求業務の他に電話対応に従事することが一般的

電話対応もICT化することで、事業所に事務員を配置しないで事業所運営が可能



- 他社システム(CTI)と自社システム(メール送信機能)を組み合わせで構築
- コールセンターの職員も当社社員であるため、各事業所で作成された各スタッフの訪問予定表や顧客情報も閲覧可能。スタッフの状況を把握したうえで対応が可能

生産性向上②コールセンターの構築 (2)コールセンター活用によるメリット

| 項目 | 詳細 |
|-----------------------------------|---|
| 各事業所での主に 管理者・サービス提供責任者の事務負担軽減 | <ul style="list-style-type: none">• 電話対応に加え、付随して発生する連絡調整業務（例：「本日のサービス開始時間を遅らせてほしい」との連絡だったため、本日訪問する予定のヘルパーに開始時間の変更連絡を行う）の一部もコールセンターで実施することができ、業務の切り分け（現場の事務負担軽減）につながる |
| 各事業所での主に 管理者・サービス提供責任者の心理的負担軽減 | <ul style="list-style-type: none">• 介護事業の場合、電話相手が認知症の高齢者で、30分ほど話が続いてしまうことや、認識違いの苦情を受けることもある• 対応専門のコールセンター職員が対応することにより、現場職員の心理的負担軽減にもつながる |
| コスト削減・サービス提供可能時間増加 | <ul style="list-style-type: none">• 事業所のスタッフ（管理者・サービス提供責任者・訪問介護員）が電話対応にかかる時間を大幅に削減することで訪問介護業務に専念でき、より多くの時間、訪問介護サービスを提供することができる |

地方における在宅介護現場での 生産性向上好事例

つるかめグループ17の事業

株式会社つるかめ・社会福祉法人つるかめ・株式会社エミオン



【通所介護施設】

天童デイサービスセンター つるかめ
天童デイサービスセンター となりのつるかめ
デイサービスセンター わらうつるかめ
介護予防センター 歩くつるかめ

【居宅・短期入所等】

ショートステイ お宿つるかめ
ショートステイ つるかめの縁
小規模多機能 いこいのつるかめ
居宅介護支援事業所 つるかめ

【入居系施設】

特別養護老人ホーム つるかめの縁
グループホームつるかめ

【共生型施設】

デイフィット たび空
(高齢) 通所介護・予防通所
(障害) 自立訓練(機能訓練)・生活介護

【薬局事業】

おりづる薬局 (山形市・天童市・オンライン)

【教育・人財事業】

介護福祉士養成校 学ぶつるかめ
エール事業協同組合 (外国人監理団体)

“つるかめ”が考えるDXとは

つるかめでは、以下の4点を重点的に取り組んでいます。

- ① 介護職員の負担を軽減し、業務効率をあげるだけではない取り組みの促進
- ② 教育レベルの向上と脱属人的教育の徹底
- ③ 事故リスクの軽減と利用者サービスの質の向上
- ④ 独自開発の「60項目の生活課題改善メソッド」で暮らしの継続を


独自の自立支援ケアを実践し「生活課題を改善し、介護度の維持改善を行う」ことを目的に10年の歳月をかけて開発したエビデンスのある生活課題改善メソッドを作成しました。

職員の経験年数や資格に頼らず、ケアプランに基づいた効果的な機能訓練が一人ひとりの生活課題別にアプローチできることで、介護認定の軽減へ導き、持続可能な介護保険制度の実現に向け社会保障費の削減を目指すところまで実践するのが「つるかめが考える介護DX」だと考え、実践しています。

課題① デイサービスは慢性的な残業状態

デイサービスにおいては、一部の職種が慢性的な残業状態が課題となっている。

特に計画書に携わる職員(相談員、機能訓練指導員)の時間外が目立つ。これまでは人員基準より若干名多い人数を日々配置してきたが、採用費用の掛かり増しや、物価高騰の影響で利益率が大幅に低下、持続可能な事業所運営を行う為に、人員基準に合わせた職員配置を行う必要がある。

- 
- ✓ ムリ・ムダ・ムラを明確化する為に委員会を設置、通所介護事業所ならそれぞれの事業所の業務の進め方や所要時間を比較し、日課や職員の役割の見直しを行った。
 - ✓ 同じ事業形態の事業所同士、業務内容を比較するのは有効であり、サービスの質の向上に対しての気づきもあった。
 - ✓ クラウド型記録ソフトの導入と手書きの記録からタブレット入力へ、計画書作成補助システムや音声入力システムを導入することで時短に成功。

使用している機材の一部

ケア樹でどんなことが出来る？



請求業務
(インターネット伝送)



計画書管理
(LIFE 対応)



介護記録



報告書作成



集計機能
(LIFE 対応)



システム連携

音声入力支援システム

ボイスファン

Voice fun

声で
書こう!!



だれでも かんたん すぐ使える

キーボードの代わりに音声で入力できるシステム。介護福祉業界に特化し、業界用語もすぐに変換できます。


世界最高の
コミュニケーションデバイス



事業所の課題に合わせてソフトや機材を選定することでムダが発生せず、効果が出やすい

課題② 人材育成・教育に時間を割けていない

人材育成・教育はサービスの質の維持向上、均一化には不可欠だが、限られた時間内で尚且つ業務時間内に全員に同じ教育研修を実施することは不可能。しかし、人材育成・教育はサービス維持向上の根源であり、機器導入と並行して重要視しているため苦慮していた。

- 
- ✓ OJT、法定研修は各施設にバラつきがあり、それが原因とも言える離職もあったため、**属人化しないOJT実施**の為の指導者リスト、マニュアルに紐づいているチェックリストを独自で作成し、指導者、指導を受ける側の双方で確認できるマニュアルと共に作成した。
 - ✓ 階層別研修や法定研修もこれまでは資料作成や台本作成などの準備に年間60時間ほど掛かっていたが、**オンライン研修システム**(弊社で監修協力)を導入することで、準備時間を10分の1に大幅に削減でき、子育て世代や短時間勤務の職員などが研修に参加しやすくなり、専門教材を使用することで理解度も上がっている。

つるかめ新人研修マニュアルから抜粋

チェックリストの表紙
「3ヶ月で覚えてほしい」
事は何かを法人として統一

新入社員研修 チェック表(介護・リハ)

～入職から3ヶ月間で覚えてほしいこと～

- ① マニュアルに基づき担当職員が指導し、指導終了後に指導済欄へチェックする。
- ② 入職1ヵ月後に、新入職員が自己チェック欄で項目ごとに確認をし、第1回の欄に自己評価する。
- ③ すぐに担当職員が第1回確認欄にチェックし、1ヵ月後の評価をする。
- ④ 新入職員と担当者はできるようになったことなどをきちんと評価、確認し合う。

このマニュアルに基づきOJTをし、『できる』ようになったかを確認する。



その詳細なチェック項目

| 日常・介護業務 | | 習得評価 A:独り立ち B:もう少し C:習得途中 | | | | |
|---------|---|---------------------------|------------|-----------|------------|-----------|
| | | 指導済 | 年月日 1ヶ月 | | 年月日 3ヶ月 | |
| | | | 自己 評価 | 指導者 評価 | 自己 評価 | 指導者 評価 |
| 移動・移乗 | 車椅子の操作方法(リクライニングを含む)と各パーツを理解している。(現場) P34 | | | | | |
| | 車椅子の動作確認(ブレーキ・空気圧等)を理解している。(現場) P34 | | | | | |
| | 個々に合った介助方法ができる。(現場) P36~38 | | | | | |
| | 車椅子を使用し、段差の上り下りの介助ができる。(現場) P35 | | | | | |
| | ベッド⇄車椅子の移動・移乗介助ができる。(現場) P39~40 | | | | | |
| | 車椅子⇄椅子の移乗介助ができる。(現場) P41~42 | | | | | |
| リハ | リクライニング車椅子の操作ができる(平行移乗を含む)。(現場) P34・40 | | | | | |
| | リハビリテーション・ケアについて知っている。(現場) P43 | | | | | |
| | 運動の二原則を理解している。(現場) P44 | | | | | |

必ずリンクする

移動

目的 安全で安楽な移動方法と福祉用具を理解し、お客様の残存機能を活かす

車椅子の種類と各部の名称

① グリップ
② アームレスト (アームサポート・肘掛けとも呼ぶ)
③ ブレーキ
④ テッピングレバー
⑤ フットレスト (フットサポート・足台とも呼ぶ)
⑥ グリップ

⑦ グリップ
⑧ グリップ
⑨ グリップ
⑩ グリップ
⑪ グリップ

車椅子での移動 (介助の場合)

- まず、ブレーキがしっかりかかっているかを確認する
- お客様の手がタイヤに触れていたり、足がフットレスト(フットサポート・足台)から外れていないか、確認する
- お客様の腕を車椅子の中に入れ、姿勢が崩れていたら直す
- しっかりとグリップを握りながら、片方ずつブレーキを外す
- 「動きますよ」と声掛けし、ゆっくりと進む
- 停車時はグリップを握りながら、片方ずつブレーキをかける

車椅子での移動 (自操の場合)

内部研修のDX化による準備負担の軽減と参加者増が実現



【従来の研修準備】



年間
60h



年間
6h



【DX導入後の研修準備】

研修内容検討・計画

研修内容検討・計画

研修施設/担当者の決定

研修施設/担当者の決定

研修内容の調査/学習

研修内容の調査/学習

研修資料作成

研修資料作成

研修動画制作

研修動画制作

動画配信

動画配信

準備時間
【導入前】
1回あたり150分
【導入後】
1回あたり15分程度に

動画の中から選ぶだけ

動画を見て学習
印刷してレジメ代わり

【問題点】

- ・ 全員参加は勤務上難しい
- ・ 子育て世代職員は参加が難しい
- ・ 研修動画の配信までの時間がとてもかかっていた。

【改善点】

- ・ 計画立案時間が削減された
 - ・ 資料作成時間の大幅短縮
 - ・ 動画制作時間の大幅短縮
- 作業負担を大幅に軽減し、質の高い研修が無理なく続けられている 26

→ PCスキルの差で準備時間がバラつく

使用しているサービスの一部

療養の現場で使える実践ナビゲーション



研修動画が数百本
法定研修だけでなく
ケアの質の向上が
グループ内で共通の
教材を使用することが
有効。資料や電子書籍
も読めるサービス

課題③ 転倒事故が減らない

どんなに対策を講じても事故報告書の件数が減らない。特に居室内での転倒が多く、転倒は場合によっては骨折になり入院となってしまうケースもあるため経営上のリスクも大きいことが課題となっていた。



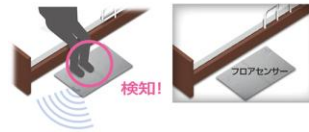
- ✓ 転倒を防止する為にはどうして(どうやって)転倒したのかを検証することが重要である。未然に防ぐ目的と事故が起きてしまった場合の検証ができるよう見守りシステムとプライバシーに配慮したカメラを導入した。
- ✓ 睡眠や離床を見える化できるシステム(まもる一の)を導入したことで、夜間の安眠を妨げないケアを実践でき、日中の覚醒状態が良くなって活動性が上がり機能訓練の効果も出やすくなった。
- ✓ その結果、睡眠改善が日中のフラつきや精神面での好影響で転倒リスクも軽減している。

使用している機材の一部



まもる～のマットL

マットを踏むと検知



まもる～のトイレ

トイレに座ると検知



まもる～のチェア

車いすから立つと検知



まもる～のドアセンサー

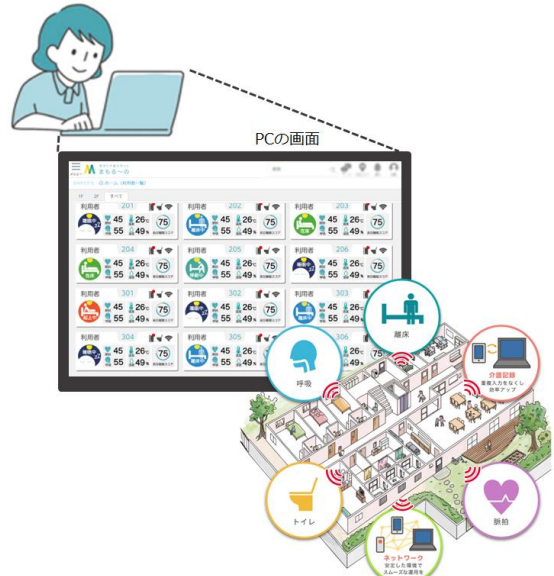
ドアが開くと検知



カメラ



- 通知時にカメラで居室の状態を確認することができます。また話しかけて様子をうかがうこともできます。
- 任意のタイミングで居室の状態を確認することができます。(閲覧操作ができない選択も可能です)



カメラやセンサーなど様々な機器が
アセスメントで個人ごとに追加利用ができる

見守りシステムを活用することで得られている「成果」

- ①ぐっすり睡眠時間の拡大
- ②減薬（眠剤や安定剤の減薬）
- ③日中の居眠りが減った
- ④日中の活動性が上がった
（ふらつきが軽減し転倒件数が減少、運動にも意欲的になった）
- ⑤夜間、不必要な覚醒がなくなった
ことで翌朝すっきり起床
- ⑥認知症状の緩和

課題④ 自立支援型機能訓練への課題感

機能訓練が画一的で職員のレベルによって、利用者の満足度もバラついていた。どちらかというとなレクリエーション寄りの機能訓練になっており、満足な成果を得られにくい状態になっていた。

- ✓ 介護保険の認定調査項目を細分化して利用者の抱える生活課題を抽出していくと約60個の生活課題や自宅での暮らしの継続を行う為に必要な項目が見えてきた。
- ✓ そこから60個を1つの項目(例:入浴)毎に作業分析(動作分析)を行い、更にはその動作1つ1つを改善する為の運動プログラム、メニューを紐付けすることで、理学療法士や作業療法士でなくても、介護職員がリハビリ職と近い訓練を提供でき、新卒の学生でも介護度改善に繋がられるプログラムを作成した。
- ✓ それをクラウドシステムにすることで、どのサービス事業所でもタブレットを見ながらやモニタに映して訓練ができるようになった。

生活課題改善プログラム「つるかめメソッド」

つるかめメソッドは、リハビリ特化型デイサービスが開発した**自立支援メソッド**です。介護保険の認定調査項目以外にも、生活や趣味活動など幅広くアプローチできるよう、生活課題などを可視化することで「**なりたい自分**」に必要な**運動や動きをイメージ**しやすくなるようにしたものです。**改善プログラムは60種類、組み合わせると500種以上**あるので、その時々状態に合わせたリハビリができます。

生活課題などを可視化した表

10月は「掃除」の運動メニューの一部を紹介します!

①「床から掃除機を持ち上げる」の動きに必要な練習



- ※床に置いたカゴを掃除機に見立てて行います。その際、カゴの中に物を入れて重さを調整してください。
- ①足を肩幅くらいに広げてからしゃがみ、両手でカゴをつかみます。
 - ②そのカゴを持って立ち上がったら、今度はしゃがんで、

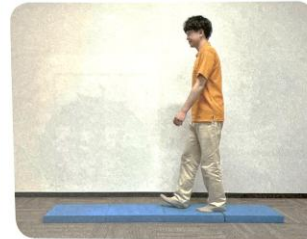
②「掃除機を持って歩く」の動きに必要な練習



- ※①と同様に、カゴを掃除機に見立てて行います。
- ※カゴの中に物を入れて重さを調整し、片

8月は「掃除」の運動メニューの一部を紹介します!

①「部屋の中を歩く」動きに必要な練習



- ①じゅうたんや畳の上を歩くことを想定して、柔らかい「バランスマット」の上を歩く練習をします。
- ②今回は、バランスマットを3メートルほど敷いて、その上を歩いてみましょう。1往復を1セットとし

②「掃除機を使って掃除する」動きに必要な練習



- ①実際に、掃除機を用意します。そして機の電源コードを、コンセントにさす
- ②続いて、床の上に紙くずなどを置きます。

| 興味・関心チェックシート | ※得意な活動(得意) | ※得意でない活動(苦手) | ※得意でない活動(苦手) | ※得意でない活動(苦手) |
|--------------|------------|--------------|--------------|--------------|
| 日常生活動作(ADL) | 歩行 | 階段の上り下り | 車椅子での移動 | 車椅子での移動 |
| 食事・調理 | 箸の持ち方 | 箸の持ち方 | 箸の持ち方 | 箸の持ち方 |
| 洗濯 | 洗濯機 | 洗濯機 | 洗濯機 | 洗濯機 |
| 掃除 | 掃除機 | 掃除機 | 掃除機 | 掃除機 |
| 趣味・娯楽 | 読書 | 読書 | 読書 | 読書 |
| その他 | | | | |

5月は「買い物」の運動メニューの一部を紹介します!

1. 「買い物」という日常生活動作の「課題」の分析



2. 課題に対応した「運動メニュー」の提案

「袋詰め」の動きに必要な練習

① 上半身の強化



② 袋詰めの練習



①ピニール袋やマイバッグなどに、重さや

9月は「テーブルの下を掃除する」の運動メニューの一部を紹介します!

1. 掃除の動き(掃除機)の作業分析



2. 課題に対応した「運動メニュー」の提案

①「テーブルの下に手をのばす」動きに必要な練習



①立った姿勢から、片足を前に出し、両手を床と水平になるように

②「掃除機でテーブルの下を掃除する」動きに必要な練習



①実際に、紙くずなどをテーブルの下に置いて、



全国介護事業者連盟による 介護・障害福祉事業者向けの DX相談窓口の設置

当団体について

| | |
|-------|--------------|
| 法人形態 | 一般社団法人 |
| 法人名 | 全国介護事業者連盟 |
| 設立年月日 | 2018年6月 |
| 本部所在地 | 東京都千代田区麴町4丁目 |
| 代表者 | 斉藤正行 |

介護・障害福祉事業者による横断的(法人・サービス種別)組織体制

「産業化の推進」・「生産性向上の推進」を2大テーマとする。

介護・障害福祉事業者会員数 : 5,855社 35,906事業所

※令和7年2月現在

DXなんでも相談窓口

介護・障害福祉事業所の
業務改善やICT化など
なんでもご相談ください

2024年9月18日(水) 開始



こんなお困りごとはありませんか？



そもそもICTツールにどんなものがある
かわからない



パソコンやタブレットを導入したけれど、
記録の転記作業が増えてしまった



ICT化についていけない職員が心身の不
調を理由に離職してしまう

そのお悩み、介事連の **DXなんでも相談窓口** にお気軽にお問い合わせください



情報収集のご支援

「改善が必要だと分かっていても、何から手をつければいいのか悩んでいる」そんな状況でも大丈夫。最新の情報をもとに『次の取り組み』を具体的にご提案し、一緒に検討します。



比較検討のご支援

ツール選びには知識や相場観が必要ですが、多くの事業所ではその情報が不足しがちです。あなたの事業所の課題にマッチし、導入後も現場で使いやすい製品が見つかるよう、複数のポイントでの比較検討をサポートしていきます。



伴走支援

機器やICTツール導入には、事業所独自のマニュアル作成や現場職員への説明など、いくつかの障壁があります。DXなんでも相談窓口では、こうしたステップを一つひとつクリアするための具体的な助言を行い、生産性向上を実現するための継続的な支援をします。

実際にいただいたご相談 ※一例



業務改善に関して何から始めていいかもわからないのでアドバイスが欲しい



介護ソフトとインカムを連携して業務効率化を図りたい

など、さまざまにご相談をいただいています！

課題が解決できるまでのステップ



DXなんでも相談窓口 お問い合わせ



<https://kaiziren-comimi.studio.site>

☎ 050-8893-4565

